PRESS RELEASE

独立行政法人国際協力機構
関西センター
2024 年 7 月 23 日

甲賀市でJICA留学生の関西地域理解を深めるプログラム
障害者支援を通じたインクルーシブな社会の実現

2024年7月25日(木)、独立行政法人国際協力機構関西センター（JICA関西）は、滋賀県甲賀市にて、JICA留学生* 向けに「甲賀市における障害者支援を通じたインクルーシブな社会の実現」と題したプログラムを実施します。

本プログラムは関西の大学院で学ぶアジア、アフリカのJICA留学生16名を対象に、関西の歴史や文化の理解を深める「地域理解プログラム」の一環として、**多様な人々がその人らしく活躍できる環境を提供する「やまなみ工房」の事例を見学し、参加者が自国の障害者福祉について考える**機会を提供するものです。

開発途上国では障害者の社会進出が遅れるなど福祉面で課題を持つ国も多く存在します。本プログラムでは、甲賀市にある福祉事業所であり利用者の約9割が現代アート作家として活躍する「やまなみ工房」を訪問します。設立の経緯や活動内容等についての講話の他、施設見学を通じて利用者の方による作品の制作風景や過ごし方を見学することで、JICA留学生が自国の障害者福祉について考え、インクルーシブな社会の実現に向けて活躍することが期待されます。

本プログラムには日英通訳も同行しますので、ぜひ取材を検討ください。取材をご希望の場合は、7月24日（水）17:00までに以下の問合せ先までご連絡ください。

＜当日のスケジュール＞　**2024年7月25日(木)**

時間	内容	会場
13:00～13:30	やまなみ工房　講話	やまなみ工房 （滋賀県甲賀市甲南町葛木872）
13:30～15:00	やまなみ工房　施設見学	

・多少前後する可能性があります。本件は別途ご案内の「伝統産業である信楽焼の継承と発展」（午前中）と同日実施です。

【本件に関する問合せ先】
JICA 滋賀デスク　森川 真秀（もりかわ　まさひで）
Mobile: 080-8506-3713（携帯）　E-mail: jicadpd-desk-shigaken@jica.go.jp

＊ JICA留学生：開発途上国からJICAの人材育成プログラムで来日し、日本の大学院（修士課程・博士課程）で学ぶ留学生。行政官、研究者、民間企業出身者など、将来、国の発展を支えるリーダーとなることが期待されている人材です。自身の専門の研究とともに、日本の近代化の歴史を学ぶことで、日本と途上国をつなぐ架け橋となることも期待されています。2024年5月時点でアジア、アフリカ、中南米など約250名が関西地域の13大学院に在籍中です。（うち滋賀県内約40名）。